

令和5年度 家庭科 第1学年 年間指導計画・評価計画

目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人に支えられてきたことに気づく。 ・家庭や家族の基本的な機能について理解し、家族関係をよりよくする方法を考えることができる。 ・衣服のはたらきがわかり、衣類の素材や状態に応じた日常着の手入れ、保管ができる。 ・布を用いて生活を豊かにする物の製作ができる。 ・住まいのはたらきについて理解し、快適な住まいの方法を工夫できる。 												
学期	月	単元	時	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価資料						
1 学期	4	ガイダンス	1	○小学校家庭科の学習を振り返るとともに、3学年の学習内容の見直しをもつ。 ○自立と共生について考える	○自分の成長に関わる家族のはたらきを理解している	○家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。	○中学校での学習内容に興味をもち、3年間の見直しをもとうとしている。	ワークシート 提出物 授業参観 定期考査						
				A 家族・家庭生活	1 自分の成長と家族・家庭生活	3	○自分の成長と家族や地域の人びとのかかわりと自分自身の理解を深める。 ○家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ○自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。 ○家族には互いの立場や役割があり、居力することで家族関係をよりよくできることを理解する。	○家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域との関わりについて理解している。 ○家庭や家族の重要性に気づき、家族の一員として自分ができることを理解している。 ○家庭生活が地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 ○家族の互いの立場や役割について理解している。 ○家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。	○家族とのかかわりについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○家族とのかかわりに関して、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ○家族とのかかわりに関して、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ○よりよい家庭生活の実現に向けて、家庭生活について工夫し創造し、実践しようとしている。	ワークシート 提出物 授業参観 定期考査			
	6	1 目的の衣に服の選び方	5				○衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ○TP0を設定し、ワークシートに適した衣服のデザイン画を製作する。 ○自分らしい着方を工夫することができる。 ○和服の文化に関心をもち、和服の着方を知る。 ○自分の衣服計画が立てられる。 ○既製服を選ぶポイントがわかる。	○衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ○目的に応じた着用について理解している。 ○個性を生かす着用について理解している。 ○衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ○衣服の計画的な活用への必要性について理解している。	○衣服の選択について問題を見出して課題を設定している。 ○衣服の選択について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ○よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	ワークシート 提出物 授業参観 定期考査			
							7	2 日常着の手入れと保管	4	○衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。 ○取り扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を洗濯できる。 ○衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。 ○衣服の傷みの状況に合わせた方法で補修ができる。 ○衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる。	○布を用いた物の製作や衣生活の生活の工夫に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 ○製作方法の手順を考えることができる。 ○基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して安全で能率よく制作できる。 ○ミシン操作や基本的な縫製技術を用いて手際よく適切に作業することができる。	○日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定している。 ○日常着の手入れについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。 ○衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	ワークシート 提出物 授業参観 定期考査
										9	B 衣生活	7	○布を用いて生活を豊かにするものを作る。 ○製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。 ○生活を快適にしたり、資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族地域の人の生活を豊かにするための物を製作する。 作品：ブックカバー	○製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。
	10	生活の課題と実践	2				○今まで学習してきた「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の中からほかの内容とも関連させて課題解決に向けて計画を立て実践できる。 ○実践したことをまとめ、発表し、よりよい生活にするための新たな課題を見つけ次の実践につなげられる。	○自分や家族の衣生活や環境について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	○よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。				ワークシート 提出物 授業参観 定期考査	
				11	3 持続可能な衣生活	1	○資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。 ○SDGsの取り組みについて衣生活での工夫を考えられる。	○社会や環境に配慮した衣生活について問題を見いだして課題を設定している。 ○社会や環境に配慮した衣生活について考え、工夫している。	○よりよい衣生活を目標として、衣服の選択や手入れ、製作などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。 ○自立した消費者として、社会や感情について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。	ワークシート 提出物 授業参観 定期考査				
B 住生活	1 住まいのこはたらき	3	○住まいの基本的な役割について理解する。 ○日本の伝統的な住まいの特徴を知る。 ○住まいの空間の使い方について理解する。 ○さまざまな生活によって、住まい方の工夫がわかることを理解する。				○住居の基本的な機能について理解している。 ○家族の生活と住空間との関わりを理解している。	○住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ○家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	ワークシート 提出物 授業参観 定期考査				
			2	2 安全な住まい暮らし	5	○家庭内の事故の種類と、その原因を知る。 ○幼児や高齢者の安全を考えた住み方について工夫する。 ○地域のさまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。 ○ハザードマップの活用方法を知る。	○家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ○自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	○住生活について問題を見いだして課題を設定している。	ワークシート 提出物 授業参観 定期考査					
						B 食生活	4 日常食の調理	2	○調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができるようになる。 ○おいさと調理の関わりや調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。 ○調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。 ○蒸し料理を学ぶ	○食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ○蒸し器の使用方法を知り適切に調理できる。	○日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。	○日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。	ワークシート 提出物 授業参観 調理技能 定期考査	
3	3 持続可能な住生活	2	○持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住み方の工夫があることを知る。 ○持続可能な住生活のために、課題を見つけ、改善方法を考える。	○社会や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ○社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。	○自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。				ワークシート 提出物 授業参観 定期考査					
			総時数		35									